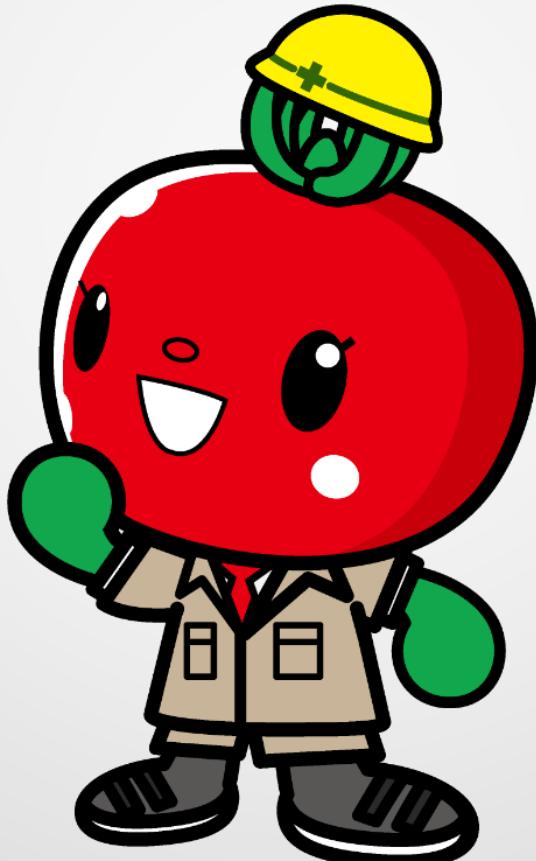


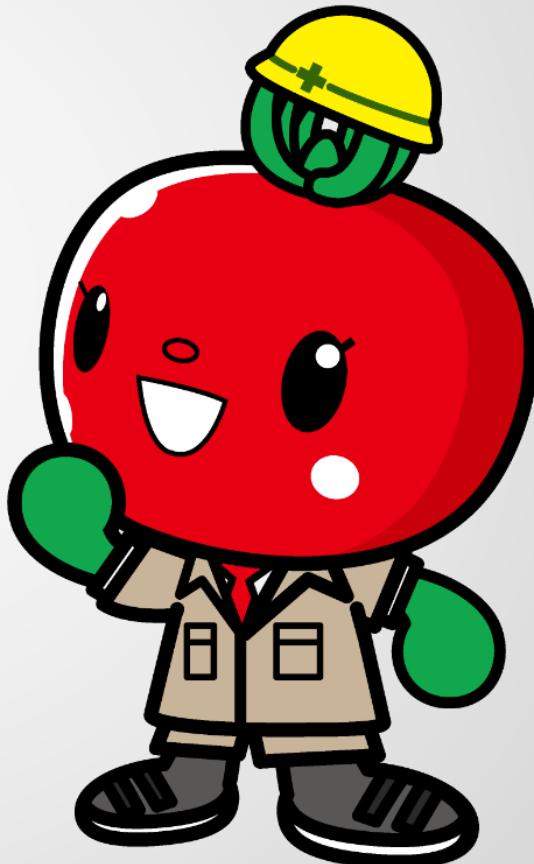
きたもとしこくどきょうじんか ちいきけいかく
北本市国土強靭化地域計画
こ ようがいようばん
(子ども用概要版)



きたもとし こくどきょうじんか ちいきけいかく
北本市国土強靭化地域計画

この計画は？

おお さいがい
大きな災害から、みんな
いのち ざいさん まも さいがい
の命と財産を守り、災害
つよ あんしん く
に強いまち、安心して暮
らせるまちをつくるため
けいかく
の計画です。



想定される地震災害

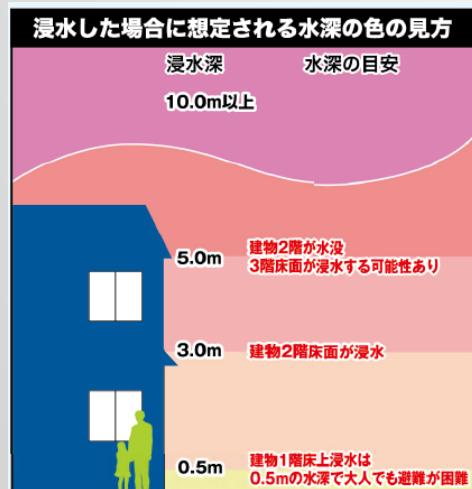
下の表は、北本市に大きな被害をもたらす可能性のある5つの地震です。

このなかで、北本市に最も大きな被害をもたらすと考えられるのは、「関東平野北西縁断層帯地震」です。

次に大きな被害をもたらすと考えられるのは、「東京湾北部地震」です。

想定地震名	最大震度	発生確率	人的被害	避難者（1週間後）
東京湾北部地震	5強	70%	2	92
茨城県南部地震	5強	70%	0	33
元禄型関東地震	5強	ほぼ0%	0	23
関東平野北西縁断層帯地震	7	0~0.008%	2,034	26,491
立川断層帯地震	5強	0.5~2%	0	16

※発生確率：今後30年以内に発生する確率



想定される風水害

左の図は、大雨（荒川流域の72時間総雨量632mm）が降り、荒川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションしております。

北本市における荒川洪水浸水想定区域は、西側地域と北東地域に分かれます。

西側地域の場合は、荒川の決壊直後に氾濫水が到達します。

浸水地域は、荒川に接する高尾地区、荒井地区、石戸宿地区及び北本自然観察公園敷地内の低地周辺が浸水想定区域となっており、地域の多くは農地などに利用されています。

次に、北東地域の場合は、上流域で決壊した氾濫水が地盤の低い地形に沿って流下し、決壊から最短で約8時間程度で到達すると想定されています。浸水地域は、鴻巣市と接する旧谷田川から新谷田用水、赤堀川に沿った地域が浸水想定区域となっており、これらの地域には市の防災拠点である宮内中、北本市体育センター、北本総合公園が位置し、県立北本高等学校も含まれます。

また、それ以外の地域でも、栄地区の南側の一部地域や高尾4丁目の鴻巣市と接する一部地域でも浸水すると想定されています。

計画の目標

1

いのち まも
みんなの命が守られること
(人命の保護が最大限図られること)

2

あんしん く
みんなが安心して暮らすこと
(市及び地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること)

3

ざいさん こうきょう しせつ まも
みんなの財産や公共の施設などが守られること
(市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化)

4

しゃかい けいざい ふっしきゅう ふっこう
社会や経済が復旧・復興すること
(迅速な復旧復興)

おお

さいがい はっせい

そな

とりく

大きな災害発生に備えての取組み

事前に備えるべき目標

災害から、みんなの命を守る

救助、救急、医療活動が素早く行える
被災者の健康、避難環境を確保する

行政機能を確保する

経済活動の機能を止めない

インターネット・電気・ガス・石油・
交通ネットワークなどを早期に復旧
させる

社会や経済が早急に復興できるように
する

市の取組み

- 災害に強いまちの整備を進めます
- 壊れた建物や道路が早期に復旧できる体制を整備します
- 災害医療体制の整備を図ります
- 自ら避難することが困難な方の避難対策を進めます
- 福祉避難所の整備、在宅医療への支援整備を進めます
- 災害発生時の感染症の発生防止対策を進めます
- 消防ポンプ自動車や消防防災の器具、機材の整備を図ります
- 食料・飲料水・生活必需品の備蓄を進めます
- 防災訓練や防災啓発活動を実施します
- 防災教育・学習の充実を図ります
- 日頃から交通安全対策の推進、地域防犯力の向上を図ります
- 農業・商業・工業の振興に努めます
- 災害情報の収集・伝達体制を整備します
- 災害時のエネルギー確保の体制を整備します
- ボランティア団体の協力が得られるよう体制を整備します
- 地域の防災力の強化を図ります
- 地域コミュニティ活動の活性化、市民参画の充実を図ります
- 被災された方がいつもの生活に戻れるよう体制を整備します